

学年通信

第6号 2019年 6月 18日

西朝明中学校第1学年
担当 大矢 淳史

もうすぐ期末テスト発表！

中学生になって初めての中間テストが終わって、まだ3週間ですが、今週の水曜日には、もう期末テストが発表になります。今回は、テストの教科が8教科に増えます。中間テストの反省を踏まえてしっかりと計画を立てましょう。

1. 授業第1主義で臨む

授業中には、大切なことを先生は必ずしゃべっています。例えば、「ここが大切なところだ」「テストによく出てくるところだ」「黒板の字の色が変わっている」などです。また、教科書の太字も大切なところでしょう。

また、頭の中は、複数のことを考えることができません。授業中に別のことを考えたり、友達としゃべっていると内容が頭に入りません。気を付けましょう。

2. ノートをきちんととって、大切なところを書き留める。

人間は、忘れる動物です。しかも覚える気がない場合は全く覚えようとしません。例えば、昨日の昼食のメニューなどがそうでしょう。「一昨日の晩御飯は何でしたか。」ときかれてずっと出てくる人は少ないでしょう。人間は、何度も何度も繰り返すことで覚えていきます。大切だから覚えておこうという気持ちで、ノートに書き留めていくと、覚えていきます。また、家で見直しをしたりするとさらに覚えます。繰り返し覚えることが大切です。

3. 問題集(ワーク)は、必ず3回は見直すこと。

最もいけないことは何でしょうか。先生は、【答の平行移動】と呼んでいます。問題集(ワーク)をテスト勉強でやっていくときに、先生から答えももらっていると思います。そんな時に、問題を読んで考えずに、答えをそのまま丸写しで問題集(ワーク)に答えを書くことです。ある中学校でも、これだけ問題集(ワーク)をきちんとやっていれば、テストの点はばっちりだと思っていたら、全然点の取れない生徒がいました。【答の平行移動】をしていたのです。そんなある日、答えを友達からもらって学校で【答の平行移動】をしている生徒がいました。(堂々と学校で)先生からその生徒にひと言、【答の平行移動】は点数が取れないよ!!!と伝えました。テスト後その生徒は、テストの点が、いつも60点ぐらいなのに、90点を取ることができました。生徒は「先生を見返してやろう」と考えたそうです。【答の平行移動】をやめて、しっかりと問題集(ワーク)に取り組んだとのことでした。

4. 早めに全教科に取り組むこと。

期末テストは、中間テストとは違い、教科も8教科に増え、実施も3日間になります。教科によっては1学期の学習内容すべてがテスト範囲になります。中間テストでの勉強の仕方を反省し、次のテストまでにしっかりと対策できるように予定を立てましょう。教科によっては、テストの点が大きな比率を示す場合があります。早めに一度は全ての課題に手を付けてみましょう。このままでは時間が足りないことなどが分かります。余裕をもって取り組んでいきましょう。

防災@にしあさけ2019が行われました！

校区内めぐり・プレゼンテーション

5月16日（木）の校区内めぐりから、クラス内での検討会・発表会、学年での合同発表会・プレゼンテーションを経て6月15日の発表に至りました。

A地区3組



6B地区4組



C地区2組



D地区1組



E地区4組



F地区2組



地域の方から感想も出されました。

見に来ていただいた方々です。



ありがとう
ございました。

保護者の皆様へ



6月26日（水）～28日（金）の3日間、期末テストがあります。その後、7月17日（水）・18日（木）の2日間に三者懇談会を実施します。大変お忙しいとは存じますが、両日とも10時15分からの予定ですので時間のほうをよろしくお願いします。なお詳しいことについては、担任より後日連絡をさせていただきます。また、何か気になること等ございましたら、遠慮なく学校（337-2518）までご連絡ください。